

# 北河内救急懇話会 議事概要

日 時：令和元年9月2日（月）

午後3時00分から4時00分まで

場 所：大阪府守口保健所講堂（守口市庁舎8階）

出席委員：18名

## ■ 議 題

- (1) 第7次大阪府医療計画北河内圏域版における救急医療の現状と課題、対策について
- (2) 意見交換

## ■ 報 告

- (1) 北河内メディカルコントロール協議会と北河内救急懇話会との一体化について

## ■ 情報提供

- (1) 大阪府児童虐待防止医療ネットワーク事業について
- (2) パンフレット「上手に医療を受けるために～知っておきたいこと～」

---

### 《議題に対する主な意見》

（○は委員の発言、●は事務局の発言）

#### 1 精神疾患のケース

- 精神疾患の転院搬送は非常に困難。大阪府の精神ネットワークが作られているが、1回目の連絡で受け入れOKということはない。
- 精神疾患と身体疾患の「合併症支援システム」では、夜間・休日に2床ベッドを確保しており、現状は1日1床程度の稼働。身体科の先生が困っておられるのは、精神疾患の既往歴がある患者が身体疾患で搬送された状況ではないか。
- 精神疾患のみの場合は大阪府が5床から7床ベッドを確保。毎日5床前後は稼働していると聞いている。（大阪府が運営する「精神科救急医療システム」）
- 精神科救急は対応が進んでいる。精神疾患患者を一旦一般病院へ受け入れた後、そこから依頼できるシステムができていると思うが。
- 様々なパターンがあり、身体合併の患者の場合は、一旦、救急告示病院で受け入れ、「精神科

救急医療システム」により精神科病院へ搬送。また、一旦、救急告示病院に搬送し、身体に問題なければ精神科病院へ転院する場合もある。精神疾患のみであれば、5床から7床確保している病院へ直接搬送。精神疾患の現場滞在時間30分以上の割合は18.4%だが、身体合併の患者を受け入れる医療機関が少ないことが問題。

## 2 吐下血のケース

- 吐下血での複数回連絡は北河内の継続的な問題だが、今のところ社会問題化するような例はない。
- 昨今は内視鏡の止血術が進んでいるが、できない病院は断らざるを得ない。断る理由は、夜間の完全な内視鏡システムや、医者を含めて手が足りないということ。
- 枚方市内の病院では吐下血への対応は数年前から輪番制。緊急対応はできているが、疑わしい症例では搬送困難が生じている。急性期の高齢者患者の増加は医療病床懇話会、病院連絡会でも問題となった。特に75歳以上の救急搬送数や入院患者の増加という観点で、詳細分析した結果を情報提供いただきたい。

## 3 高齢者のケース

- 高齢者のデータについて、追加説明する。75歳以上の搬送割合は大阪府、全国ともに増加しており、資料1のとおり、高齢になるにつれて入院率が高い。北河内圏域における65歳以上の入院患者数は1年間で1万7640件。そのうち4583人が65歳から74歳、1万3057人が75歳以上。資料1において呼吸器疾患罹患率は、65歳から74歳が7.7%、75歳以上は13.0%となっているが、入院が必要であった患者の病名からみると、65歳から74歳の入院患者のうち10.7%、75歳以上の19.1%が呼吸器疾患であり、呼吸器疾患の入院に占める割合が高い。高齢者の誤嚥性肺炎を含む呼吸器疾患等々が問題。一方、外傷罹患率は資料1で65歳から74歳が22.5%、75歳以上は22.4%となっているが、入院が必要であった患者の病名からみると、65歳から74歳の入院4560人のうち833人の18.3%、75歳以上の入院1万2960人のうち2611人の20.1%が入院となっている。外傷性疾患は、他の疾患に比べて入院になりにくい傾向にある。外傷性疾患で入院となった外傷は、大腿骨の頸部骨折等が多くなっており、大腿骨骨折の割合を見ると、65歳から74歳の外傷入院833人のうち18.4%である153人。75歳以上の入院2611人のうち29.5%の771人で、75歳以上の大腿骨骨折による入院率が高い。大阪府も含め、医療病床懇話会等でも検討が必要な課題。
- 独居の場合、在宅復帰が困難な事例が多く見受けられる。独居や老老介護等の現代の社会的な要因を加味しなければ正確な現場の現状把握にならない。
- 独居の入院率は分からないが、一定程度背景分析はできた。
- 患者背景は、消防機関が入力するものと、医療機関が入力するものの2通り。今回の詳細分析

に独居は入っていないが、データとしては収集している。患者の受け入れ困難となる理由であることは認識している。

- 消防機関が入力した多くの情報が、ORION で統合されている。今後、救急懇話会と MC 協議会が一体化するメリットは、詳細な側面からの分析も可能となること。

## ■ 配布資料

配席図、委員名簿、出席者名簿

大阪府地域保健医療協議会懇話会設置要綱

北河内保健医療協議会組織図

資料 1 北河内二次医療圏における救急医療体制について  
～ORION データ分析結果からみた現状～

資料 2 MC 協議会と救急懇話会の一体化について

資料 3 大阪府児童虐待防止医療ネットワーク事業

資料 4 上手に医療を受けるために～知っておきたいこと～

参考資料 1 実施基準（北河内圏域版）

参考資料 2 救急業務高度化推進に関する部会の設置について